

地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	穎娃おこそ会
役職	
氏名	原本太郎
着任日	令和3年4月1日

活動月	令和4年12月（着任1年9ヶ月）
主な活動	1. 番所鼻公園でのイベントの開催 2. OPEN PARK MEETUP/LAB の実施 3. 森の作業—ウッドチップ舗装と植樹 4. 研修参加・視察

1. 番所鼻公園でのイベントの開催

番所鼻公園でのキッチンカーイベント「絶景ごはん」の18回目を12/18に開催しました。今回は寒い中、時折雪もちらつく天気だったので、客足は落ち着いていましたが、恒例となっているモルックで楽しむ来場もいらっしやいました。

モルックは10月・11月にイベントを実施したこともあり、KYTの番組での取材を受け、16日の「かごピタ」で放送され、さらに公園やモルックの発信に繋がりました。



2. OPEN PARK MEETUP/LAB の実施

12/7にOPEN PARK MEETUPの4回目を開催しました。今回は、東京より空間デザインの専門家をお招きし、現場で今後建設予定の拠点施設の位置や規模感を確認しながら、今後の公園のデザインの展開イメージや考え方を共有し、参加された皆さんからは、今後の公園での活動や事業展開に向けて前向きなご意見をいただきました。

地域おこし協力隊活動報告書

また OPEN PARK LAB では、12/31 締め切りまでの応募が 8 件、実施に向けて企画の調整を進めており、1～3 月で随時実施していく予定です。

加えて、社会実験の一環として、森の中にイルミネーションの設置を行いました。以前より公園に視察に訪れた方々との意見交換の中で、イルミネーションがあると冬や夜間の活動として良いかもしれないということもあり、実験的になるべく手間やコストを掛けない方法を検討するため、ソーラー式の自動で蓄電・点滅する LED ライトを木に設置しました。

今後、夜間の点灯の状況やライトの劣化の状況などを確認しながら、2～3 月中ぐらいまで設置したままの状態を検証していく予定です。



3. 森の作業—ウッドチップ舗装と植樹

NPO 森と木の研究所さんとの協働の活動で、今回はウッドチップ舗装の延長と公園北側への植栽を行いました。今年も地元の保育園や児童クラブの子供たちの参画を計画しましたが、新型コロナウイルスの関係で、おこそ会のみでの参加となりました。

ウッドチップ舗装は昨年度実施した区間と併せて、今回の作業で、いせえび荘前から西側の園路（タツノオトシゴハウスと西側駐車場を繋ぐ道）まで繋がったため、海側の園路と森の中の道の 2 つを楽しんでいただけようになりました。



4. 研修参加・視察

12 月 2-3 日に南薩地域の地域おこし協力隊の研修、13-15 日に公園での事業実施に向けた兵庫視察を行いました。

地域おこし協力隊活動報告書

研修では南薩地域の現役・OBOGが集まり、協力隊サポーターズ鹿児島による協力隊制度の有効活用に関するレクチャーや地域商社まくらざき・オコソコの活動事例から、任期後のなりわいづくりに向けた学びと情報・ノウハウの共有を行いました。また、これまであまり無かった自治体の垣根を超えた協力隊同士の交流を楽しみ、今後の南薩での連携に向けて良い経験となりました。



兵庫視察は、主に番所鼻公園で計画しているシェアカフェ(仮)事業に向けたコンテナハウス等の建築や公園内でのカフェ運営、関係人口づくり、アウトドア事業の展開に関する学びを得て事業に反映するために実施しました。

特に大きな学びとしては、公園内で事業をする上で、それに関わる人が公園でやりたいことを実現したり、面白いと思ったことをすぐに実践することで、さらに人を呼んでくるといった流れを作っていくことが重要であることと、自分たち自身もそれぞれの強みを生かしながら、“楽しい”を軸に活動・事業を行なっていくことで、より関わりしろを広げたり、継続性に繋がっていくということを実感しました。



地域おこし協力隊活動報告書

■ SNS

□ 番所鼻自然公園



BANDOKOROBANA_PARK

Facebook ▶ 「番所鼻自然公園」

Instagram ▶ @Bandokorobana_Park

@agribits_farmersmarket

□ ふれあい瀬平公園



UREAISEBIRAKOUEEN

Facebook ▶ 「颯娃ふれあい瀬平公園」

Instagram ▶ @eifureaisebirakouen

▼ 番所鼻自然公園での取り組みについて（2021年度活動報告動画）

https://www.youtube.com/watch?v=_XwIhNZWJfw



南九州市
Minamikyushu City